

71 「予防・予察」に重点を置いた総合防除の推進

令和8年度予算概算決定額 2,549百万円（前年度 2,605百万円）の内数

〔令和7年度補正予算額 4,000百万円の内数〕

- <対策のポイント>
- 効果的な病虫害防除による生産力の向上と環境負荷の低減を通じた農業生産の持続性の確保の両立に資する、化学農薬のみに依存しない「予防・予察」に重点を置いた総合防除を推進していくための取組を支援します。
- <事業目標>
- 農業者の総合防除の実践と浸透を図る総合防除実践指標を470件策定〔令和12年まで〕（食料・農業・農村基本計画のKPI）

○ 化学農薬の使用量（リスク換算）の50%低減〔令和32年まで〕（みどりの食料システム戦略のKPI）

<事業の内容>

1. 食料安定生産に資する新たな病虫害危機管理対策・体制の構築事業

78百万円（前年度 96百万円）の内数

精緻かつ迅速な発生予察の実現に向け、新たな発生予察の調査手法を確立します。

2. 消費・安全対策交付金のうち病虫害の防除の推進

1,896百万円（前年度 1,896百万円）の内数

① 総合防除実践指標の作成、これらに必要な地域の総合防除体系を確立するための実証などの総合防除の実践に向けた取組を支援します。

② 従来の防除対策では防除が困難化した作物に係る新たな防除技術の実証等による防除体系の確立を支援します。

③ 関係者と産地が連携し、地域一体となった効果的・効率的な新たな広域型総合防除体制のモデル的な構築を支援します。

3. みどりの食料システム戦略推進総合対策のうちグリーンな生産体系加速化事業

574百万円（前年度 612百万円）の内数

〔令和7年度補正予算〕4,000百万円の内数

みどりの食料システム戦略の実現に向けて、化学農薬低減等の「環境にやさしい栽培技術」と慣行の栽培に比べ「省力化に資する先端技術等」を取り入れた「グリーンな生産体系」への転換に向けた取組を支援します。

<事業イメージ>

食料安定生産に資する新たな病虫害危機管理対策・体制の構築事業

遺伝子検定手法等の新たな発生予察の調査方法の確立

病虫害の防除の推進

総合防除の実践

IPM

指標の策定や指標を用いた農業者による総合防除の自己点検

指導者の育成に必要な研修、講習等への参加・開催を支援

防除が困難化した作物に係る防除体系の確立

近年発生が増加傾向にあるイネカメムシ

DMI剤耐性リンゴ黒星病

・気候変動等の影響により発生が増加した病害虫

・薬剤抵抗性病害虫

→代替農薬の選定やローテーション散布の検証等

・農薬登録の見直し等に伴う使用可能な農薬の減少

→新たな防除技術や資材の実証

→現場のニーズに対応した効果の高い代替農薬の選定等

グリーンな生産体系加速化事業

（例）土壌くん蒸剤の代替技術の導入

連作により土壌くん蒸剤だけでは防除できない土壌病害虫の常発

技術の検証

・緑肥の導入

・輪作・休耕の実施

・土壌還元消毒の利用

・マニュアルスプレッターによる省力散布 等

代替技術の導入

栽培マニュアル、産地戦略の策定

土壌くん蒸剤の低減

<事業の流れ>

国

委託

民間団体等（1の事業）

定額、1/2以内

都道府県等（2の事業）

定額

都道府県

定額、1/2以内

協議会等（3の事業）

〔お問い合わせ先〕

（1と2の事業） 消費・安全局植物防疫課

（3の事業） 農産局技術普及課みどりユニット

（03-3502-3382）

（03-6744-2107）